



辰柳 敬一 議員

## 酪農経営危機の対策は

### 町と農協等連携し各種支援を

**議員** 酪農家の経営困難は、農家一町村だけでは解決できない事態に発展しています。こういう事態に葛巻の酪農に期待する酪農関連企業や東京等の消費者のみならずは葛巻の酪農の動向に大いに注目していると思います。こういったことを背負いながら町長は町のトップとして活動しているが消費者団体などに直接面談するなどして今の酪農の現状を訴えて解決の糸口を探ることが大事ではないか。

**町長** 町では、1月に対策本部を設置し協議を重ね対策事業を進めてきました。その間、国・県に対しても対策の要請活動を行ってきました。その結果、5月末に都府県酪農緊急経営強化対策事業が示されましたが価格高騰分を補てんするにたりません。さらに国・県の農業生産資材



深刻な油の値上がり

**Q** 新型インフルエンザ どのように対応するのか

**議員** 昨年の冬、いわゆるタミフルという特効薬に耐性の強い新型インフルエンザが発生しました。政府では日本で発生した場合、64万人の死者が見込まれると予測し、医療体制の準備づくりをしたと伝えられています。岩手県宮古市でも、様々な机上訓練を実施しています。本町においても新型インフルエンザについて町民に知らせ、取り組むべきではないか。

**Q** 県等関係機関との情報共有に努める

**町長** 世界保健機構は、新型インフルエンザ発症の可能性は非常に高いと警告しています。このようなことから、国・県で



厚生労働省 ポスターから

耐震改修促進計画」で位置づけ、計画的に進めていきます。

**Q** 長寿医療制度に移行 保険料の増減比較は

**議員** 国民健康保険から長寿医療制度に移行した際の保険料の増減はどうなっているか。

**A** 軽減対象世帯は減少 高額所得世帯は増額

**町長** 保険料7割軽減対象者は平均1,717円、5割軽減対象者は平均3,686円、2割軽減対象者は平均7,489円、軽減対象外は平均9,017円となります。

厚生労働省の調査による国民健康保険税との比較では、年金収入が少なく7割から2割の軽減対象世帯では負担が減少し高額所得世帯では増額する傾向となっています。



柴田 勇雄 議員

## 酪農振興の強力な支援対策は

### 経営診断・ミルク診断事業に力を傾注

**議員** 基幹産業である酪農が飼料と原油の価格高騰から、存亡の危機に立たされている。酪農振興の強力な支援策はないか。

①酪農家の減少実態と今後の見通しは。  
②酪農経営の現状認識は。  
③町独自の支援策は。  
④飼料自給率の現状と今後の向上対策は。

**町長** ①搾乳農家の戸数は、この5年間で40戸が減少、5年後には160戸程度まで減少することも心配されます。

②えさ代は17年度と19年度を比較した場合、一年間一頭あたり5万6千円上昇したことになり(県畜産協会データ)それに見合う分が乳価に反映されていないことなどから、所得は減り、厳しい状況です。  
③20年度からデントコーン種子助成と育成牛預託助成を実施しております。これらの事業は2カ年継続を予定しております。

厳しい酪農情勢を乗り切るために、経営診断事業やミルク診断事業などに力をそそいでいきます。

④粗飼料自給率は、55.6割となっており、遊休農地の有効活用を進



デントコーン種子助成を利用してください。

**Q** 学校・保育所等の耐震化対策は

**議員** 保育所、小中学校の耐震診断の実施状況と推進方策についてどう考えているか。

**A** 今年度計画策定 計画的に進める

**町長** 今年度策定する「建築物の